

共同運営部門：中央放射線部

—概要—

中央診療部門として、放射線科(医師)・放射線技術科(診療放射線技師・事務員)・看護局放射線科(看護師・看護助手)および関連診療科(医師)で構成されている。

—運営—

毎月定例で「中央放射線部運営委員会」を開催し、画像診断機器の稼働状況(件数・故障履歴)の報告、その他の議題を検討している。

【中央放射線部受付】



—今年度の成果と反省点—

検査(撮影)件数については、前年度とほぼ同数であった。詳細はCT検査が1,200件増、脳血管造影が70件増、MR検査が350件減であった。

単純撮影では、歯科撮影と骨密度測定がやや増、病室撮影が2,200件減(救命は500件減)であった。

放射線治療照射数は、新規依頼患者減少にともない、約900件の減少であった。

また、大型医療機器の更新はなし。

—来年度への抱負—

中期整備計画に基づき、画像診断機器を更新していきたい。

—実績—

2016年度の稼働実績は以下のとおり。

中央放射線部実績 (2016年度)		年度計(件)	地域
単純撮影等	単純撮影	44,633	
	乳房撮影	1,234	
	歯科撮影	854	
	骨塩定量	1,301	17
	病室撮影	21,675	
	術中撮影	1,871	
	計	71,568	
CT検査	単純	16,293	
	造影(心臓除く)	5,948	
	造影(心臓)	577	
	計	22,818	883
MRI検査	単純	6,931	
	造影	995	
	計	7,926	1,259
血管造影	循環器	1,185	
	頭頸部	358	
	救命センター	366	
	他	1,014	
	計	2,923	
核医学検査		1,119	349
放射線治療	照射数	2,976	
超音波検査	放射線技師乳腺	2,057	
画像取込み	CD-R	3,008	
	フィルム	277	
	計	3,285	

* 地域(病診連携)の件数は年度計に含む。